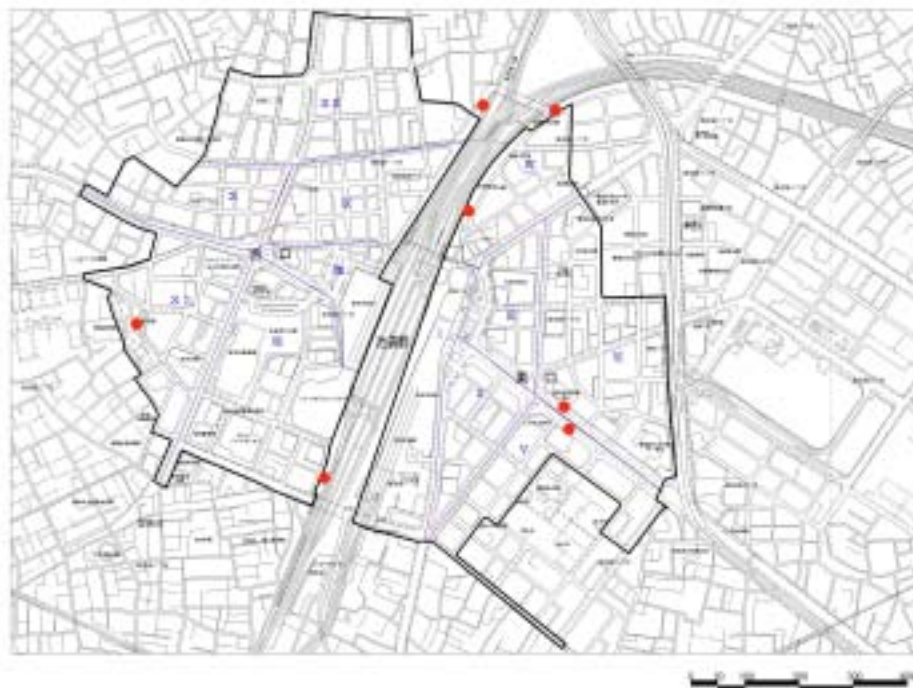


平成 16 年度各駅自転車利用実態調査の概要

- * 調査時期 : 平成 16 年 11 月 16 日～25 日 他補足調査
- * 調査駅 : 池袋・大塚・巣鴨・目白・駒込・北池袋・下板橋・椎名町・東長崎・東池袋・要町・千川・新大塚・西巣鴨・落合南長崎
- * 調査内容 :
 - ①放置自転車台数調査
始発から終電までを次の 8 つの時間帯に分けて調査員がカウントした。
1)始発時 2)始発～7:00 3)7:00～9:00 4)9:00～12:00
5)12:00～15:00 6)15:00～18:00 7)18:00～20:00 8)20:00～終電
 - ②自転車駐車場等利用台数調査
始発から終電までを上記 8 つの時間帯に分けて調査員がカウントした。
 - ③自転車利用者(放置者・駐車場等利用者)へのアンケート
 - ・放置者に対するアンケートは、池袋・大塚・巣鴨の 3 駅においては調査員が 1 日数回巡回し、放置自転車のハンドル等に調査用ハガキをくくりつけ、郵送により回収をおこなった。また、その他の駅については調査票をもった調査員が各駅周辺で放置者に対する調査協力を求め、聞き取り調査をおこなった。
 - ・駐車場および置場の利用者に対するアンケートは、管理人がいないところは自転車へのくくり付け、管理人がいる駐車場については配布願いをして調査ハガキの手渡しをおこなった。
 - ・アンケートの内容は、放置・駐輪の目的、放置・駐輪後の交通機関利用等である。
- * アンケート回収状況

・放置者アンケートハガキ	平日 10, 682 枚配付中、880 枚 休日 10, 519 枚配付中、633 枚
・放置者聞き取り調査	平日 491 人 休日 377 人
・駐車場等調査ハガキ	平日 7, 825 枚配付中、1, 995 枚 休日 3, 691 枚配布中、705 枚

池袋駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査：乗入れ 9763 台、放置 8876 台、適正駐車 1992 台
H.16 調査：乗入れ 10010 台、放置 8053 台、適正駐車 2449 台
- ・休日 H.14 調査：乗入れ 10505 台、放置 9204 台、適正駐車 1301 台
H.16 調査：乗入れ 10318 台、放置 8957 台、適正駐車 1360 台

* 平日は乗入れ台数は微増、放置がやや減少し、適正駐車台数が増えている。

* 休日は乗入れ台数は横ばい、放置がやや減少、適正駐車台数は横ばいである。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 425 / 6000 人・休日 353 / 6000 人）

放置後に鉄道を利用する者は、平日で約 42%、休日では約 44%となっている。

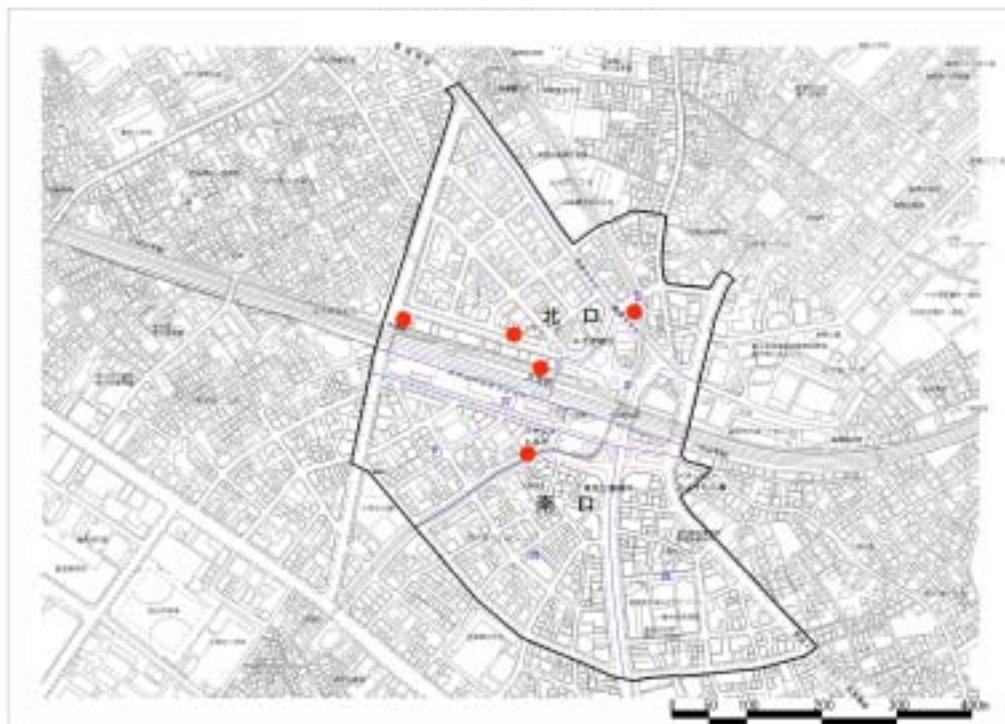
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 48%、買い物・食事・娯楽等が約 35%を占める。休日は通勤・通学が約 32%、買い物・食事・娯楽等が約 59%である。

駐輪場等利用者（回収 平日 559 / 1949 人・休日 237 / 1186 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日で約 78%、休日では約 57%となっている。

駐輪場利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 78%、買い物・食事・娯楽等が約 11%である。休日は通勤・通学が約 47%、買い物・食事・娯楽等が約 40%である。

大塚駅



H14・H16 自転車利用台数調査比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 4605 台、放置 3831 台、適正駐車 774 台
H.16 調査： 乗入れ 4871 台、放置 4121 台、適正駐車 847 台
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 3795 台、放置 3217 台、適正駐車 578 台
H.16 調査： 乗入れ 3771 台、放置 3305 台、適正駐車 466 台

* 平日は乗入れ台数全体が微増。

* 休日は乗入れ台数は横ばいだが、放置が微増、適正駐車はやや減少している。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 308 / 3000 人・休日 132 / 2519 人）

放置後に鉄道を利用する者は、平日で約 75%、休日では約 71%となっている。

放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 80%とほとんどである。休日は通勤・通学が約 48%、買い物・食事・娯楽等が約 35%を占める。

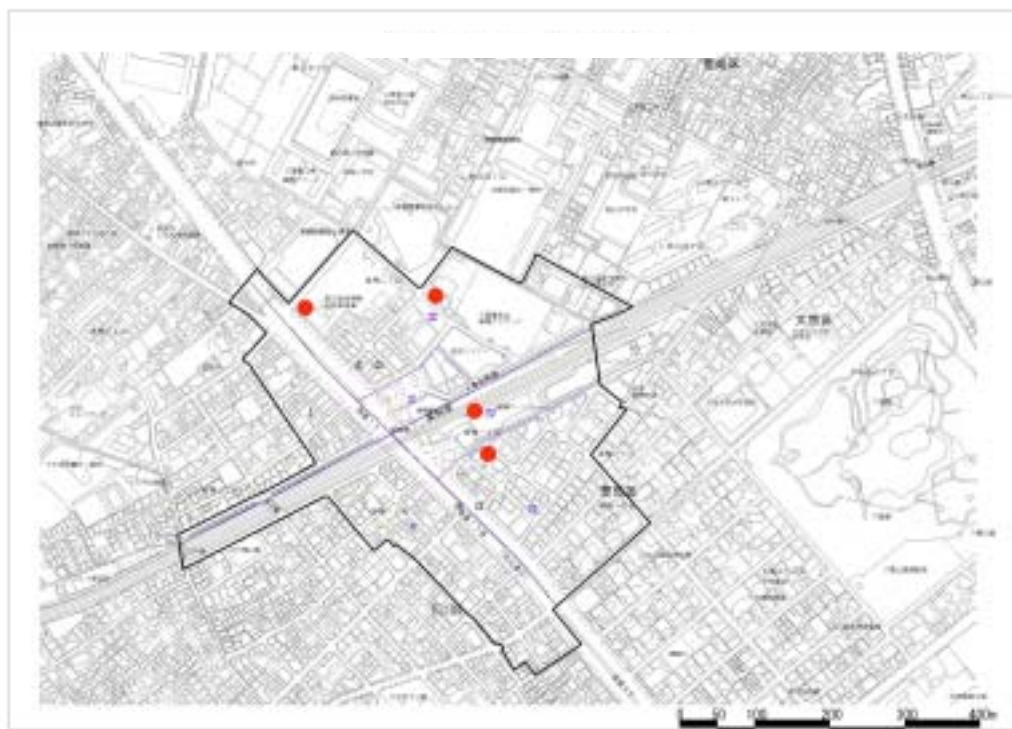
自転車置場利用者（回収 平日 69 / 765 人・休日 37 人 / 532 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日で約 80%、休日では約 81%となっている。

駐輪後の利用目的は、平日は通勤・通学が約 77%、買い物・食事・娯楽等が約 10%である。休日は通勤・通学が約 46%、買い物・食事・娯楽が約 35%である。

（* 都電利用者は鉄道利用者に含んでいない。）

巢鴨駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 3046 台、放置 2248 台、適正駐車 798 台
H.16 調査： 乗入れ 2266 台、放置 1543 台、適正駐車 1025 台
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 2795 台、放置 2656 台、適正駐車 386 台
H.16 調査： 乗入れ 2575 台、放置 2050 台、適正駐車 525 台

* 平日は、乗入れ台数および放置台数が減少し、適正駐車が増えている。

* 休日も平日ほど顕著ではないが、同様の傾向が見られる。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 147 / 1682 人、休日 148 / 2000 人）

放置後に鉄道を利用する者は、平日で約 48%、休日では約 59%となっている。

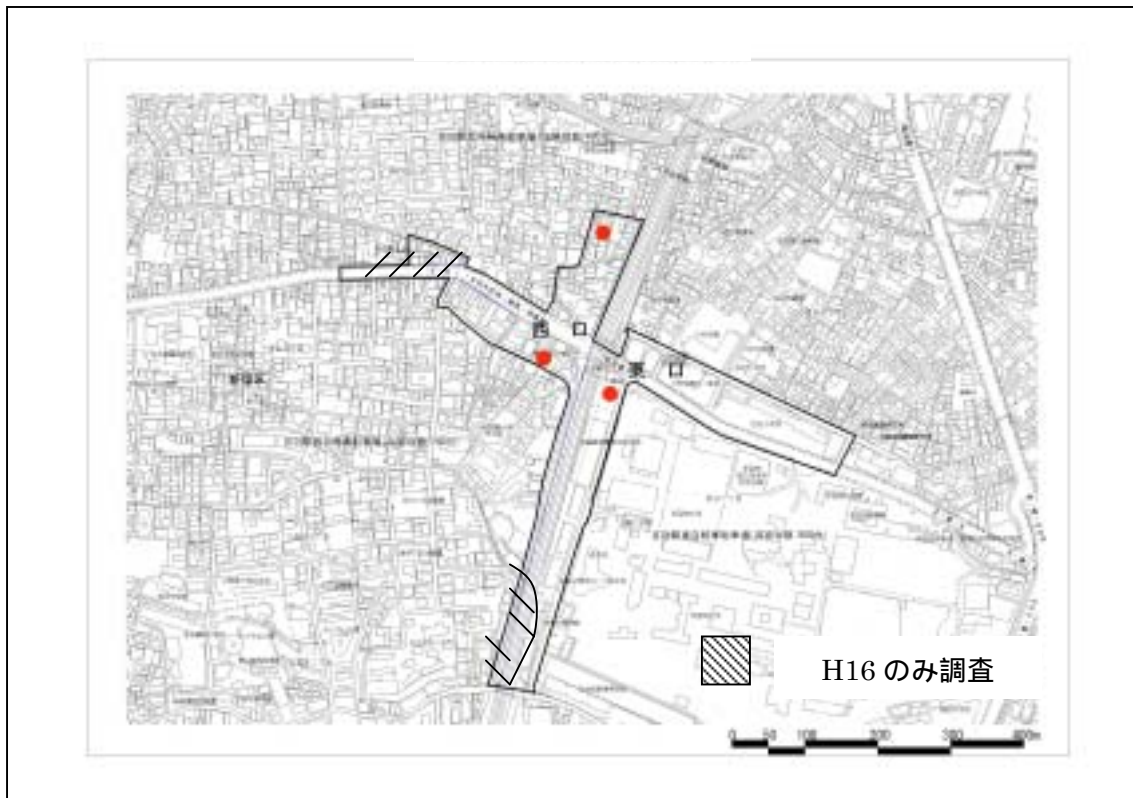
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 48%、買い物・食事・娯楽等が約 30%を占める。休日は通勤・通学が約 22%、買い物・食事・娯楽等が約 66%を占める。

駐輪場等利用者（回収 平日 247 / 820 人、休日 91 / 389 人）

駐輪後の鉄道を利用する者は、平日で約 86%、休日では約 62%となっている。

駐輪場利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 76%、買い物・食事・娯楽等が約 17%である。休日は通勤・通学が約 24%、買い物・食事・娯楽等が約 69%である。

目白駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が同じため、両者の合計が乗入れ台数となる。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 1556 台、放置 395 台、適正駐車 1161 台
H.16 調査： 乗入れ 1711 台、放置 452 台、適正駐車 1259 台
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 1074 台、放置 551 台、適正駐車 523 台
H.16 調査： 乗入れ 1292 台、放置 613 台（区内 493 台） 適正駐車 679 台

* 前回より調査区域が若干広がったため、乗入れ台数はその分を差し引くと横ばいの状況である。なお、適正駐車台数はその分を差し引いても増加している。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 56 名・休日 56 名 共に区内エリアのみの聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用する者は、平日で約 16%、休日では約 46%となっている。

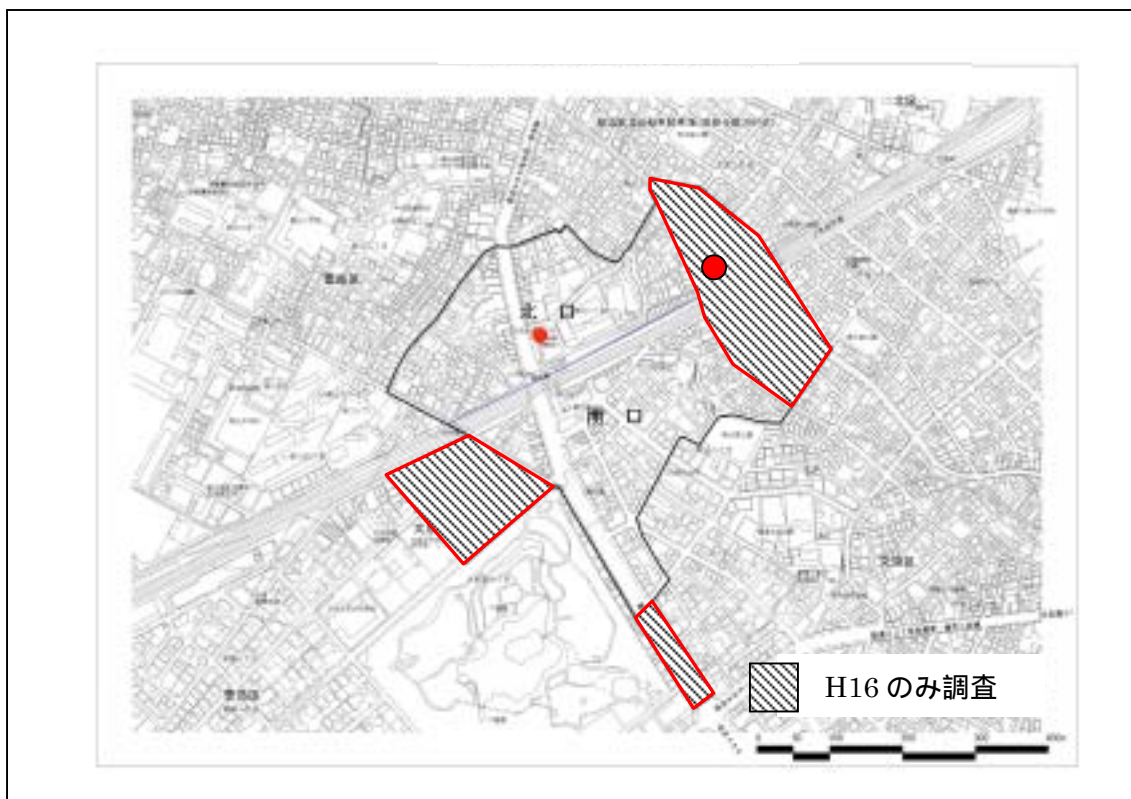
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 32%、買い物・食事・娯楽等が約 54%を占める。休日は通勤・通学が約 23%、買い物・食事・娯楽等が約 59%である。

駐輪場等利用者（回収 平日 323 / 1167 人、休日 125 / 505 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日で約 95%、休日では約 91%となっている。

駐輪場利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 87%、買い物・食事・娯楽等が約 6%である。休日は通勤・通学が約 54%、買い物・食事・娯楽等が約 25%である。

駒込駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 888 台、放置 655 台、適正駐車 278 台
H.16 調査：乗入れ 1667 台、放置 890 台、適正駐車 874 台（区内 331 台）
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 722 台、放置 581 台、適正駐車 172 台
H.16 調査：乗入れ 1430 台、放置 1052 台（区内 609 台）
適正駐車 378 台（区内 187 台）

*全体の台数が平日・休日ともに H.14 調査時点よりも増加しているが、調査範囲を H14 調査よりも広げたことが大きな要因である。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 15 人・休日 55 人 共に区内エリアのみの聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用する者は、平日で約 75%、休日では約 60%となっている。

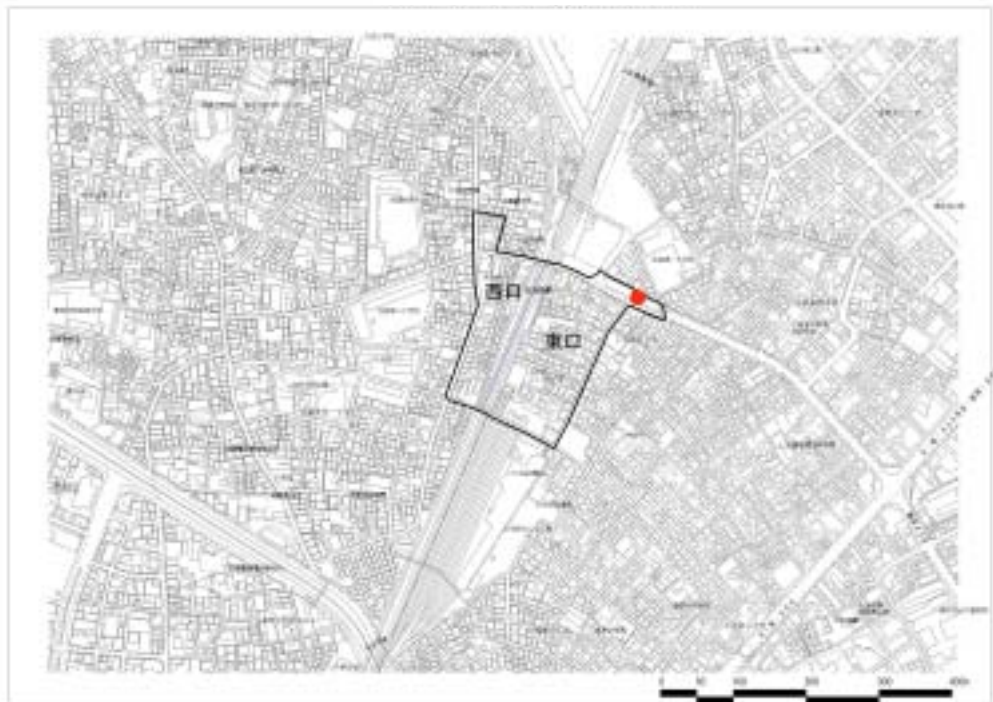
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 35%、買い物・食事・娯楽等が約 45%である。休日は通勤・通学が約 15%、買い物・食事・娯楽等が約 73%を占める。

駐輪場等利用者（回収 平日 92 / 280 人・休日 24 / 105 人 区内駐輪場のみ）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日で約 95%、休日で約 96%となっている。

駐輪場利用者の目的は、平日・休日とも通勤・通学が約 96%を占めた。

北池袋駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が同じため、両者の合計が乗入れ台数となる。）

・平日 H.14 調査： 乗入れ 325 台、放置 187 台、適正駐車 138 台

H.16 調査： 乗入れ 325 台、放置 213 台、適正駐車 112 台

*乗入れ台数としては横ばいだが、やや放置が増え適正駐車が減少している。

H16 アンケート結果

放置者（回収 10 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用する者は 90%である。

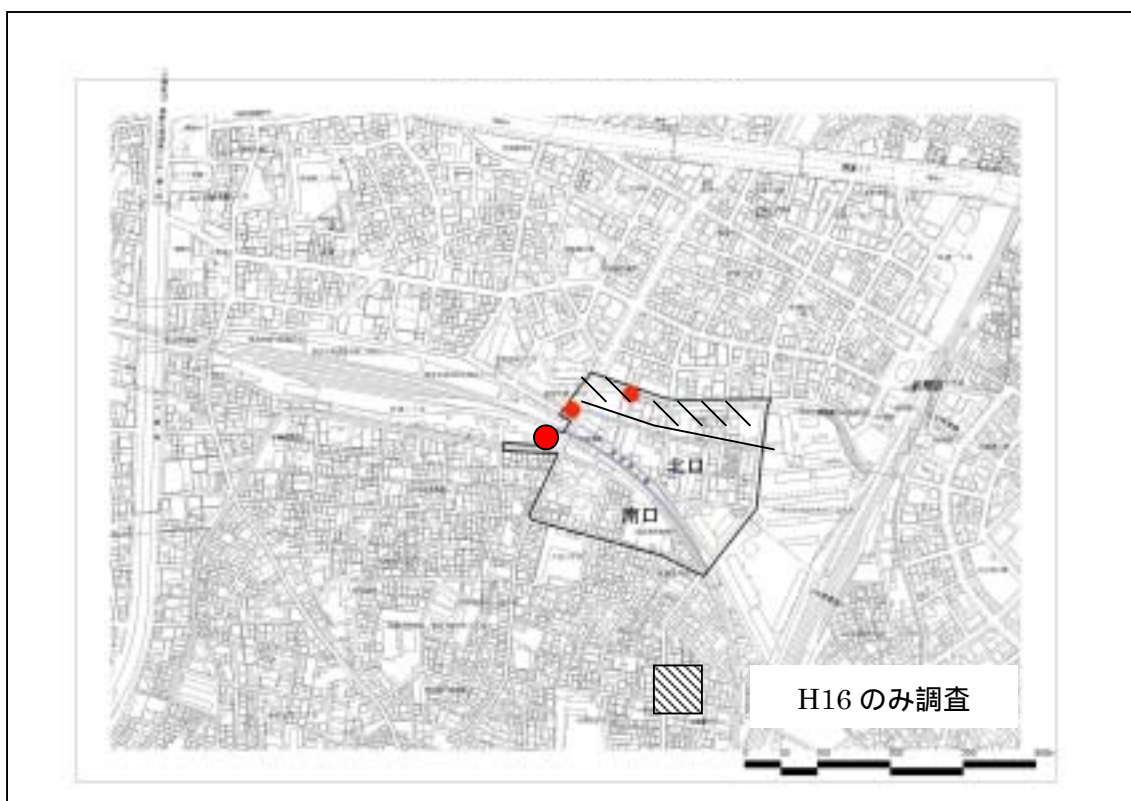
放置者の利用目的は、通勤・通学が 90%、買い物・食事・娯楽等が 10%である。

置場利用者（回収 35 / 140 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、約 89%である。

置場利用者の目的は、通勤・通学で約 89%を占めた。

下板橋駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

・平日 H.14 調査： 乗入れ 689 台、放置 232 台、適正駐車 490 台

H.16 調査： 乗入れ 752 台、放置 225 台（区内 149 台）

適正駐車 542 台（区内 281 台）

* 全体の台数が H.14 調査時点よりもやや増加しているが、調査範囲を H14 調査よりも拡大したことが大きな要因である。

H16 アンケート結果

放置者（回収 52 人 区内エリアのみの聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用する者は、約 88%である。

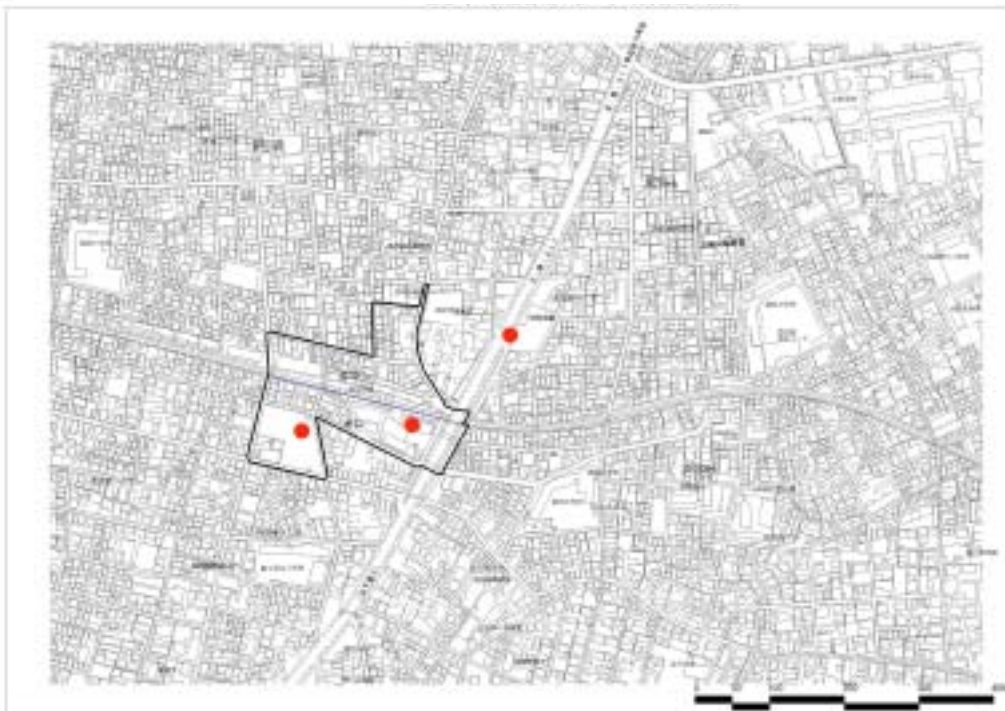
放置者の利用目的は、通勤・通学が約 65%、買い物・食事・娯楽等が約 27%を占める。

置場利用者（回収 48 / 400 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、約 92%である。

置場利用者の目的は、約 85%が通勤・通学を占めた。

椎名町駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 542 台、放置 354 台、適正駐車 210 台
H.16 調査： 乗入れ 923 台、放置 314 台、適正駐車 635 台
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 622 台、放置 502 台、適正駐車 127 台
H.16 調査： 乗入れ 717 台、放置 321 台、適正駐車 396 台

* 適正駐車の平日・休日の台数の増加および休日の放置減少は、新たに椎名町公園置場ができたことによるものと考えられる。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 28 人・休日 55 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用する者は、平日で約 43%、休日で約 29%となっている。

放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 39%、買い物・食事・娯楽等が約 54%を占める。休日は通勤・通学が約 5%、買い物・食事・娯楽等が約 78%を占める。

駐輪場等利用者（回収 平日 48 / 363 人・休日 26 / 216 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日が約 96%、休日で約 92%となっている。

駐輪場等利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 88%を占める。休日は通勤・通学が約 50%、買い物・食事・娯楽等が約 39%となっている。

東長崎駅



H14・H16 自転車利用者台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 749 台、放置 530 台、適正駐車 278 台
H.16 調査： 乗入れ 553 台、放置 357 台、適正駐車 196 台
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 681 台、放置 581 台、適正駐車 103 台
H.16 調査： 乗入れ 623 台、放置 489 台、適正駐車 173 台

* 平日は乗入れが減少している。

* 休日は乗入れそのものはほぼ横ばいで、放置が減少し、適正駐車が増加している。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 54 人・休日 60 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は、平日で約 30%、休日は約 33%である。

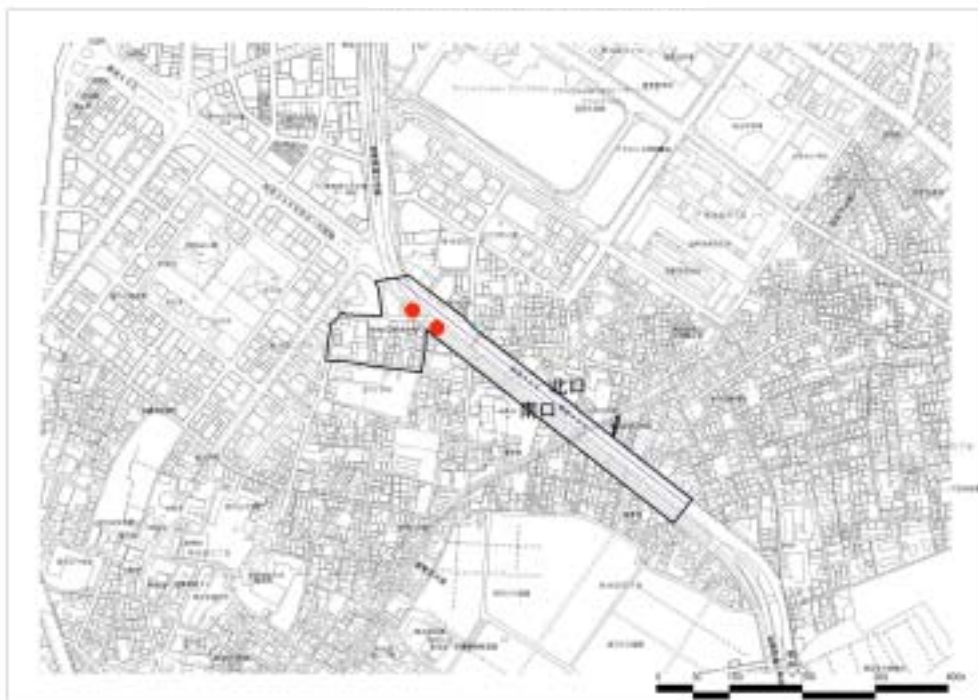
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 19%、買い物・食事・娯楽等が約 76%である。休日は通勤・通学が約 2%、買い物・食事・娯楽等が約 95%を占める。

駐輪場等利用者（回収 平日 50 / 320 人・休日 21 / 122 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日が約 82%、休日で約 95%となっている。

駐輪場等利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 64%、買い物・食事・娯楽等が約 22%となっている。休日は通勤・通学が約 90%を占めている。

東池袋駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 752 台、放置 534 台、適正駐車 218 台
H.16 調査： 乗入れ 733 台、放置 492 台、適正駐車 241 台
- ・休日 H.14 調査： 乗入れ 471 台、放置 303 台、適正駐車 168 台
H.16 調査： 乗入れ 457 台、放置 291 台、適正駐車 167 台

* 平日・休日ともすべて台数はほぼ横ばいである。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 51 人・休日 49 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は、平日で約 65%、休日は約 69%となっている。

放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 57%、買い物・食事・娯楽等が約 28%である。休日は通勤・通学が約 43%、買い物・食事・娯楽等が約 35%である。

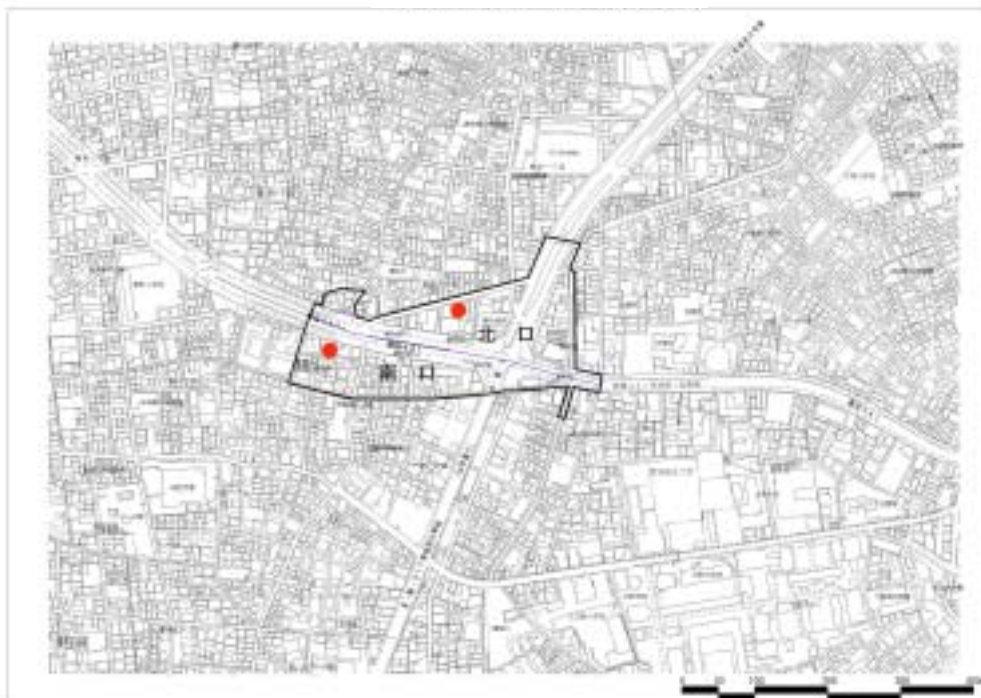
駐輪場等利用者（回収 平日 49 / 220 人・休日 30 / 170 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日が約 59%、休日で約 50%となっている。

駐輪場等利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 74%、買い物・食事・娯楽等が約 16%となっている。休日は通勤・通学が約 53%、買い物・食事・娯楽等が約 23%となっている。

（都電利用者は鉄道利用者に含んでいない。）

要町駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・ 平日 H.14 調査： 乗入れ 927 台、放置 703 台、適正駐車 286 台
H.16 調査： 乗入れ 1047 台、放置 739 台、適正駐車 321 台
- ・ 休日 H.14 調査： 乗入れ 692 台、放置 603 台、適正駐車 96 台
H.16 調査： 乗入れ 917 台、放置 799 台、適正駐車 125 台

* 平日は、乗入れ、放置、適正駐車台数とも微増している。

* 休日についてもすべて増加しているが、平日に比べると増加率が大きい。

H16 アンケート結果

放置者（回収 平日 37 人・休日 50 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は、平日で約 43%、休日は約 86%である。

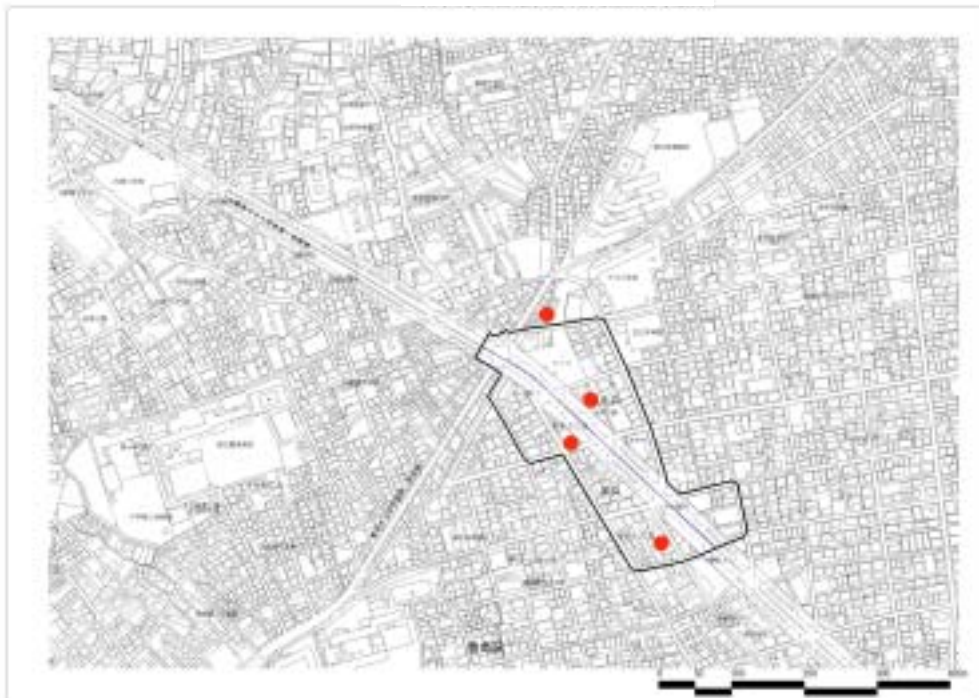
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 41%、買い物・食事・娯楽等が約 30%である。休日は通勤・通学が約 28%、買い物・食事・娯楽等が約 66%を占める。

駐輪場等利用者（回収 平日 104 / 290 人・休日 32 / 113 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日が約 97%、休日で約 94%となっている。

駐輪場等利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 92%を占める。休日は通勤・通学が約 72%、買い物・食事・娯楽等が約 28%となっている。

千川駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・ 平日 H.14 調査： 乗入れ 1508 台、放置 769 台、適正駐車 1048 台
H.16 調査： 乗入れ 1469 台、放置 522 台、適正駐車 956 台
- ・ 休日 H.14 調査： 乗入れ 1435 台、放置 1015 台、適正駐車 420 台
H.16 調査： 乗入れ 1184 台、放置 766 台、適正駐車 455 台

* 平日については、乗入れ台数は横ばいであるが、放置が減少している。

* 休日については、乗入れ台数と放置がかなり減少している。

H16 アンケート調査

放置者（回収 平日 58 人・休日 52 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は、平日で約 78%、休日は約 73%である。

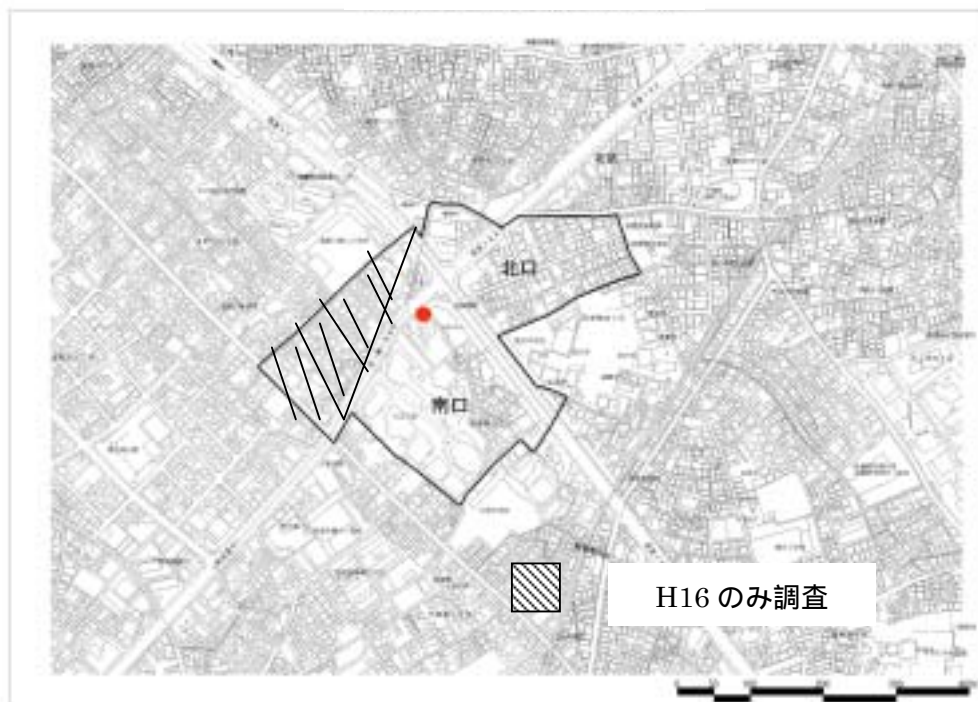
放置者の利用目的は、平日は通勤・通学が約 33%、買い物・食事・娯楽等が約 38%である。休日は通勤・通学が約 10%で、買い物・食事・娯楽等が約 81%を占める。

駐輪場利用者（回収 平日 294 / 905 人・休日 82 / 353 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、平日が約 97%、休日で約 95%となっている。

駐輪場等利用者の目的は、平日は通勤・通学が約 91%を占める。休日は通勤・通学が約 55%、買い物・食事・娯楽等が約 34%となっている。

西巣鴨駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車のピーク時間が異なる場合があるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

- ・平日 H.14 調査： 乗入れ 539 台、放置 408 台、適正駐車 134 台
H.16 調査： 乗入れ 396 台、放置 224 台（区内 182 台） 適正駐車 173 台
- * 前回に比べ調査区域が広がったにも関わらず、乗入れ、放置は減少している。
適正駐車台数は増加している。

H16 アンケート調査

放置者（回収 21 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は約 57%である。

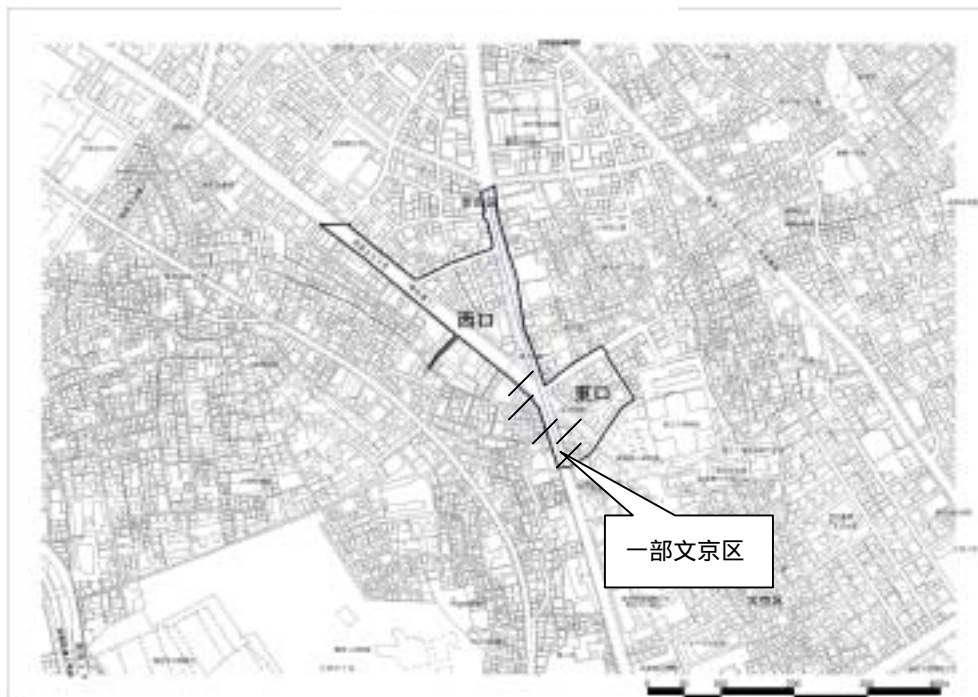
放置者の利用目的は、通勤・通学が約 14%、買い物・食事・娯楽等が約 43%、業務が約 24%である。

駐輪場利用者（回収 47 / 140 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、約 89%である。

駐輪場等利用者の目的は、通勤・通学が約 83%、買い物・食事・娯楽等が約 6%となっている。

新大塚駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置自転車のみ）

・平日 H.14 調査：580 台

H.16 調査：640 台（区内 606 台）

* 放置自転車は微増している。

H16 アンケート結果

放置者（回収 41 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は、約 66%である。

放置者の利用目的は、通勤・通学が 22%、買い物・食事・娯楽等が 29%、業務が 12%、通院が 27%を占める。

落台南長崎駅



H14・H16 自転車利用台数比較（ピーク時）

自転車利用（放置と適正駐車の違いがあるため、必ずしも両者を足した数が乗入れとイコールにならない。）

・平日 H.14 調査： 乗入れ 431 台、放置 190 台、適正駐車 253 台

H.16 調査： 乗入れ 529 台、放置 293 台（区内 141 台）、適正駐車 236 台

* 適正駐車台数は横ばいであるが、放置および乗入れ台数が増加している。これは、今回の調査区域が前回より広いことが挙げられる。

H16 アンケート結果

放置者（回収 68 人 聞き取り調査）

放置後に鉄道を利用した者は約 3%である。

放置自転車の利用目的は、通勤・通学が約 22%、買い物・食事・娯楽等が約 71%を占める。

駐輪場利用者（回収 28 / 66 人）

駐輪後に鉄道を利用する者は、100%である。

駐輪場等利用者の目的は、通勤・通学が約 68%、買い物・食事・娯楽等が約 18%となっている。